

Tidal Enterprise Scheduler : データベースの耐障害性をオフにする方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、データベースの耐障害性をオフにする方法について説明します。

前提条件

要件

この資料に説明があるプロシージャはスケジューラー データベースにアクセスの修飾された DBA の支援を必要とします。(Oracle のためにこれは「潮」スキーマです。 SQL Server ではこれは「Admiral」データベースです)。 Cisco はこの資料に説明があるプロシージャを完了する前に、そしてデータベースに対して SQL コマンドを実行する前にデータベースをバックアップすることを推奨します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Tidal Enterprise Scheduler リリース 5.3.1.x
- SQL データベース 2005-2008 年
- Oracle 10g-11g SQL*Plus

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

手順

データベースのフォールトトレランスを消すために、これらのステップを完了して下さい:

1. SQL*Plus または SQL サーバ 管理スタジオからスケジューラー データベースにアクセスして下さい。
2. 次のコマンドを実行します。

```
UPDATE sysval SET sysval_string = 'N' WHERE (sysval_id=21);
```

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)